

虐待対応従事者研修

芦屋市権利擁護支援センターでは、毎年虐待対応従事者等向けに研修を実施しています。今年度は「関わり困難な人への支援」をテーマに、2回シリーズの研修を企画しました。本人が求めるニーズと支援者が考えるニーズのミスマッチをなくすために、「本人中心のアセスメント」の重要性や手法等について学びたいと思います。

ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

◆日時：【第1回】令和7年 1月 27日（月）13:30～16:00

【第2回】令和7年 3月 6日（木）14:00～16:00

◆場所：オンライン（zoom）

◆内容：【第1回】講義「本人中心のアセスメントを考える
～全方位型アセスメントとは～」

※最初の30分に「孤独・孤立による支援課題を抱える人の支援ハンドブック」の説明があります。

【第2回】講義「全方位型支援とは」＋グループワーク

◆講師：土屋 幸己氏（一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表）
※プロフィール詳細は次面をご参照ください

◆対象：虐待予防・対応に関わる従事者

◆申込み：下記の申込みサイト（URL）にてお申込みください。

QRコードからも申込みサイトにアクセスできます。

※申込み期限 令和7年 1月 20日（月）

➡ <https://forms.gle/VvLMvdLmzvRWYJHs9>



主催：芦屋市権利擁護支援センター

TEL：0797-31-0682 FAX：0797-31-0687

E-mail：ashiya-asc@hn.pasnet.org

講師プロフィール

土屋 幸己 氏 (つちや ゆきみ)

一般社団法人 コミュニティーネットハピネス 代表理事、認定社会福祉士。

1981年淑徳大学社会福祉学科卒業後、知的障害児・者支援施設、特別養護老人ホーム、療育等支援事業コーディネーター、富士宮市社会福祉協議会事務局次長等を経て、2006年に静岡県富士宮市福祉総合相談課長(兼)地域包括支援センター長に就任。富士宮市では、全国に先駆け福祉総合相談支援体制を構築し、ジャンルを問わないワンストップの相談支援体制と地域包括ケアシステムの構築を行い、全国のモデル地域となった。その後2015年、公益財団法人さわやか福祉財団に入団。2017年には、一般社団法人コミュニティネットハピネスを立ち上げ代表理事に就任し、市町の福祉アドバイザーやソーシャルワークの基本であるアセスメント研修をはじめとする各種研修等も実施している。